

振興計画に掲げる事業の実施状況【食肉販売業】**はじめに**

本実施状況は、国の定めた振興指針に基づいて各都道府県組合が策定した平成18～22年度までの5カ年の振興計画に掲げる事業の実施状況を振興指針の見直しに反映させるために4カ年終了時点の平成21年度末に自己評価していただいたものである。なお、振興計画は5カ年計画であり、5カ年終了時点での自己評価が、今後の事業の実施状況により変動することもあり得る。

各組合の自己評価（5段階）を取りまとめたものであるが、各都道府県組合により計画立案や自己評価の方法に差異があるため一概にこの評価だけをもって事業の実施状況の良否を判断することは難しいと思われる。しかし、全体としては事業の実施状況は理解できると思われるので、今後の事業計画等の参考にしていただければと考える。

◎振興計画の実施状況

全国44組合の全てで実施

○全体としての自己評価

81%の組合が「概ね達成」以上の評価（うち11%の組合が「達成」）をしている。

長引く不況の影響、組合員の高齢化や減少により当初予定していた事業が実施できなかったり、研修会・講習会の参加者が減少してしまった等の意見が多かったが、全体としては、振興計画を概ね達成できており評価できるとの意見が多かった。

1. 衛生に関する知識及び意識の向上に関する事業

61%の組合が「達成」との評価、「ほぼ達成」も含めると82%と高い評価になっている。

主な事業内容としては、①食肉の衛生管理、食中毒予防等に関する講習会の開催、②衛生管理マニュアルの作成、③食肉販売店舗への衛生巡回指導など

2. 施設及び設備の改善に関する事業

48%の組合が「概ね達成」以上の評価（うち18%が「達成」の評価）をしている。

長引く不況から計画数を上回る施設・設備の改装は見られないが、計画をほぼ達成している。

3. 消費者の利益の増進及び商品の提供方法に関する事業

68%の組合が「達成」と評価しており、振興計画の中で一番「達成」の評価が多い事業であった。

主な事業としては、①接客、作業などに関するマニュアルの作成、②食肉料理教室の開催、③牛肉トレーサビリティ法の周知、④地域で実施されるイベントへの参加など

4. 経営管理の合理化及び効率化に関する事業

59%の組合が「概ね達成」以上の評価（うち25%が「達成」の評価）をしている。

ほとんどの組合が、経営管理などに関する研修会・講習会などを実施している。

5. 営業者及び従業者の技能の改革向上に関する事業

61%の組合が「概ね達成」以上の評価（うち34%が「達成」の評価）をしている。

主な事業としては、①食肉総菜・自家製ソーセージ等の調理技術講習会の開催、②接客能力向上のための研修会の開催など

6. 事業の共同化及び協業化に関する事業

39%の組合が「達成」と評価、「概ね達成」も含めると62%と高い評価となっている。

主な事業としては、①食肉（枝肉）の共同購入の実施、②お肉のギフト券等の共同利用券の販売、③共同開発商品の販売（飛騨牛コロケ：岐阜県、京都牛カレー：京都府など）

7. 取引関係の改善に関する事業

39%の組合が「達成」と評価、「概ね達成」も含めると57%と高い評価となっている。

ほとんどの組合が食肉卸売業者、食肉加工メーカー、食肉加工機械メーカーなどの関連業界との情報交換のための懇談会を開催

8. 従業者の福祉の充実にに関する事業

45%の組合が「達成」と評価、「概ね達成」も含めると72%と高い評価となっている。

主な事業としては、①各種共済制度の加入促進、②年金基金への加入促進など

9. 事業の承継及び後継者支援に関する事業

51%の組合が「概ね達成」以上の評価（うち23%は「達成」との評価）となっている。

ほとんどの組合が、後継者育成支援のための講習会を実施、食肉大学校への入学を勧める資料を組合員へ配布する組合もみられた。

10. 環境の保全及びリサイクル対策の推進に関する事業

9%の組合が「達成」、14%の組合が「概ね達成」、「半分程度達成」を含めても43%、未実施（未計画）の組合が41%と振興計画の中で一番低い評価となっている。

食品リサイクルや容器包装リサイクルに関する講習会を開催するという計画が多いが、実施できなかったという組合もいくつかみられた。

11. 少子高齢社会への対応に関する事業

27%の組合が「達成」、16%が「概ね達成」との評価になっているが、未実施（未計画）の組合も27%となっている。

消費者を対象として、「高齢者向けメニュー」の講習会を実施する組合が多かった。

12. 食育への対応に関する事業

45%が「達成」、「概ね達成」も含めると75%と高い評価となっている。

ほとんどの組合で消費者を対象とした講習会を開催、テーマとしては「食肉と健康」、「食肉の安全性」など

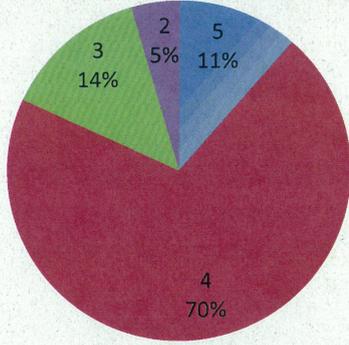
13. 地域との共生に関する事業

61%の組合が「達成」、「ほぼ達成」も含めると84%と高い評価となっている。

ほとんどの組合が、地域で実施されるイベントへの参加を実施し、その中で地域のブランド牛等の試食を実施するなど地産地消の普及に努めている。

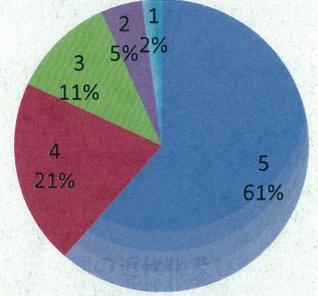
食肉販売業

全体についての自己評価

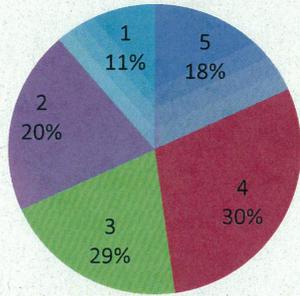


- 5 達成
- 4 概ね達成
- 3 半分程度達成
- 2 一部の事業のみ達成
- 1 未実施(未計画)

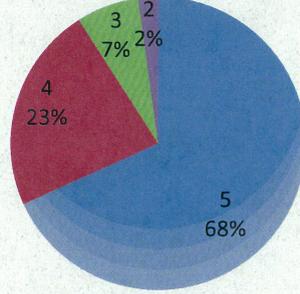
1. 衛生に関する知識及び意識の向上に関する事業



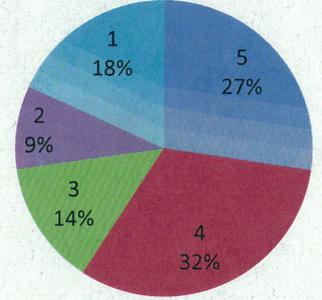
2. 施設・設備の改善に関する事業



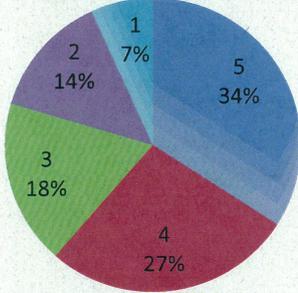
3. 消費者の利益の増進及び商品の提供方法に関する事業



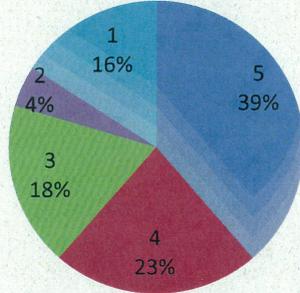
4. 経営管理の近代化及び合理化に関する事業



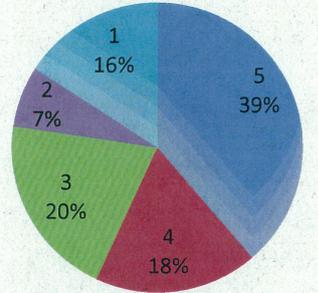
5. 営業者及び従業者の技能及び接遇の改善向上に関する事業



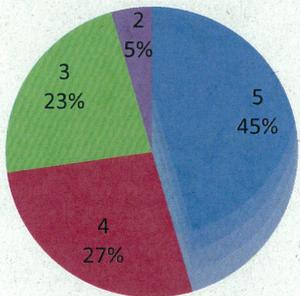
6. 事業の共同化及び協業化に関する事業



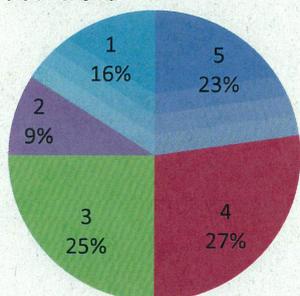
7. 取引関係の改善に関する事業



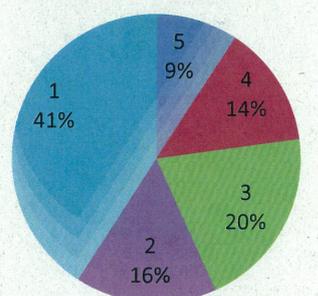
8. 従業者の福祉充実にに関する事業



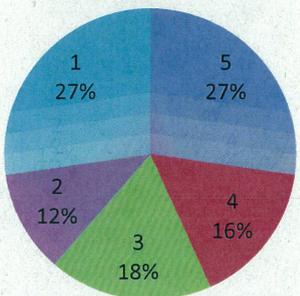
9. 事業の承継及び後継者支援に関する事業



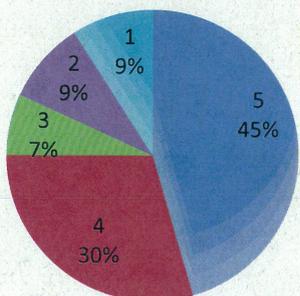
10. 環境の保全及びリサイクル対策の推進に関する事業



11. 少子高齢社会への対応に関する事業



12. 食育への対応に関する事業



13. 地域との共生に関する事業

